

第99回 ケアマネジャーの更新研修

ケアマネジャーの在り方を問い直す議論が活発化しています。厚生労働省は今年度から、「ケアマネジメントに係る諸課題に関する検討会」を設置し、4月に開催された第1回検討会では、①ケアマネジャーの業務のあり方について②人材確保・定着に向けた方策について③法定研修のあり方について④ケアマネジメントの質の向上に向けた取り組み——と4つの検討事項を示しました。

とりわけ大きな関心が寄せられているのが、「ケアマネジャーの更新研修のあり方」です。全国的に研修廃止の署名活動が行われるほどに不満の温

一般社団法人  
全国介護事業者連盟  
理事長 斉藤 正行



財政規律と

介護保険制度改革

～地域包括ケアモデルの確立に向けて～

床となっています。更新研修について、現場からは多くの不満の声があがっている課題点をいくつか確認します。

負担重く更新制度の意味問う声も

です。居宅介護支援のケアマネジャーは、24時間365日といっても過言ではない環境で日々様々な相談を受けており、多忙な中、義務研修にかける膨大な時間に対する疑問の声が多数です。研修の内容も各地域で統一のカリキュラムですが、講師の力量などによって質は大きく異なり、画一的な研修も多いとの声も多数です。

加えて、研修費用は一部の自治体において補助がありますが、原則は個人負担となります。また、更新時期の管理も自己管理が求められる、冠婚葬祭など外し難い日程の場合も参加しなければ資格消失となることに不満の声があがっています。

このような現状への不満から、更新が行われないうえに、新たなケアマネジャーの資格取得への意欲低下の状況となっており、ケアマネジャーのなり手不足の大きな要因の一つとなっており、更新制度・更新研修の抜本的な見直しが必要であると思えます。またそもそも、数ある資格の中で、なぜケアマネジャーには更新が求められるのか、更新制度そのものの必要性を問う声も多数聞かれます。中長期的な制度の在り方に対する議論が求められます。まずは、現行制度の運用の中で、

- ・ 更新頻度の期間延長
- ・ 研修時間数の簡素化
- ・ 研修カリキュラムの見直し
- ・ 研修実施方法の見直し
- ・ 講師のレベル向上
- ・ アーカイブ研修の導入
- ・ 研修受講費用の補助制度の創設
- ・ 研修未受講者に対するフォロー体制
- ・ 様々な改善策を講じていくべきです。

斉藤正行氏プロフィール  
2000年3月、立命館大学卒業後、株式会社ベンチャーリンク入社。メディカル・ケア・サービス(株)の全国展開開始とあわせて2003年5月に同社入社。現在の運営管理体制、営業スキームを構築し、ビジネスモデルを確立。2005年8月、取締役運営事業本部長に就任。2010年7月(株)日本介護福祉グループ副社長に就任。2018年4月(株)ピースフリーケアグループ代表に就任。2018年6月、介護業界における横断的・全国的組織となる一般社団法人全国介護事業者連盟を結成。(株)日本介護ベンチャーコンサルティン ググループの代表を務めている。

介護 Biz